

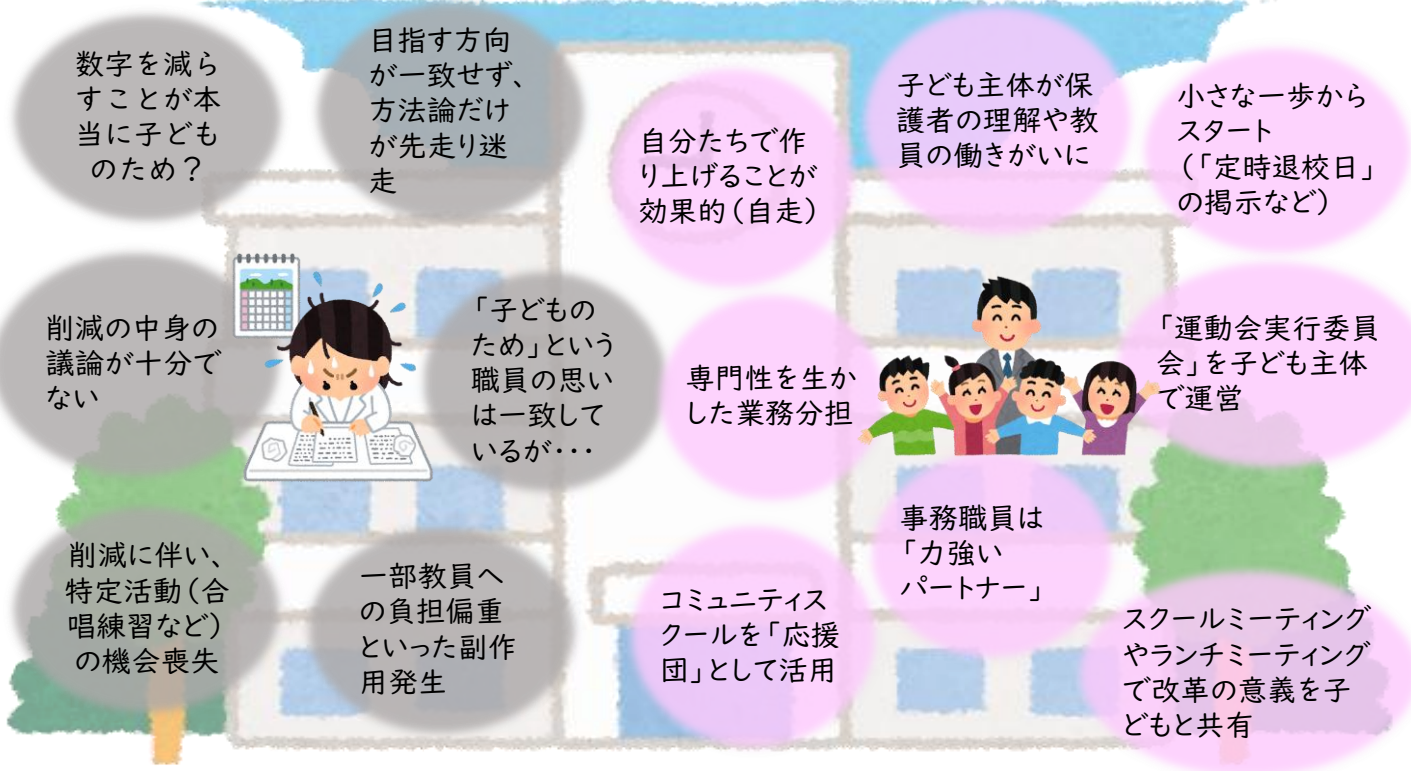
2026-07-03

全5回にわたる今年度のシェアミーティング。対話を重ねながら、それぞれの現場での一歩につながるヒントを見つけていきます。

💡 これらの「ずれ」の解消が枷(かせ)を取り除くカギ🔑

こんなことが「悩ましい」→改善のための試行（実践・工夫）

（ブレイクアウトセッションにおける情報交換から）



「創造的余白」で実現する学校改革～改革を加速させるためには

「創造的余白」：勤務時間内に生み出す「質の向上」のための時間

単純に早く帰ることだけでなく、教材研究や自己研鑽、子どもと真に向き合う時間を創造する。

「伐採」ではなく「間引き」による業務改善

全てを削るのではなく、目指す学校像（目的）に本当に必要なものを残し、他を選択的に減らす。

「小さく試す（試行）」から始める

例えば「ノー残業デーはトレーニング」のように、期間限定の「お試し」で柔軟な修正を可能に。

「手段」の前に「目的」を共有する

「子どものためになる」という共通認識を、教職員間はもちろん、保護者や地域と丁寧に構築。

働き方改革は総力戦！

個人のタイムマネジメントから地域の協力まで、総力戦で、それぞれができることをやる。

自助
(個人裁量)

個人のタイムマネジメント

共助
(学校・園裁量)

組織としてチーム運営

公助
(教委・国裁量)

教育委員会や国による支援

援助
(地域・関係機関裁量)

PTAやCSなどによる地域協力

次回シェアミーティング#02は9月11日（金）開催、テーマは「ライフステージに応じた働き方をどう実現していくか？」です。

こんな時代だから、ワクワクしたい！
これからの目指す姿
個人と社会のウェルビーイングの実現

【発行】
長野県教育委員会事務局義務教育課
(担当：荒井、渋谷)
電話：026-235-7426
Mail：gimukyo@pref.nagano.lg.jp

学校の働き方改革等に関する情報はこちら

長野県 教職員情報